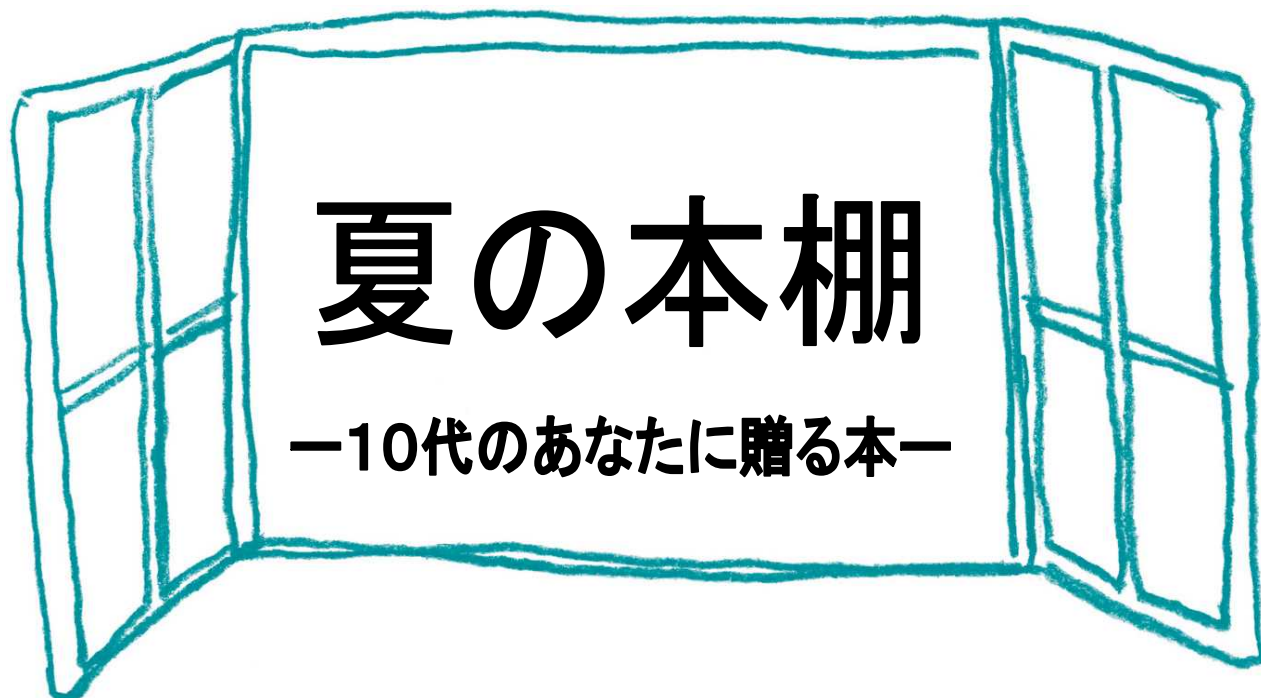




『ひゃっか!』

今村 翔吾 著

文響社 ■★ (F-イマ)

花を愛する女子高生春乃。「全国高校生花いけバトル」の決勝を目指しているが、パートナーが見つからない。そんなとき、謎の転校生の話を聞いて…。滋賀県在住作家が実際にある「全国花いけバトル」を題材に書いた作品。

『天使のにもつ』

いとう みく 著 童心社

■★ (児913-イト)

中学2年・斗羽風汰が選んだ5日間の職業体験は保育園。元気いっぱいの子どもたちの相手ってこんなに大変だったんだ。

『泥』

ルイス・サッカー 作 小学館

★ (児933-サツ)

同級生から逃げるために、顔にめがけて「泥」を投げつけた。家に帰ったらその手には赤いぶつぶつ、そして同級生は行方不明に。原因は「泥」なのか？

『変化球男子』

M.G.ヘネシー 作 鈴木出版

★ (児933-ヘネ)

体は女子、脳と心は男子の12歳のシェーン。新しい引っ越し先ではいい感じ。気の合う親友がいるし、好きな女の子とも仲良くなれたし。でも、秘密にしていたことがライバルチームの嫌な奴にバレそうになって…。

～湖南省電子図書館～

おひとり2点まで借りることができます。
どうぞご利用ください。

【電子図書館 URL】 <https://www.d-library.jp/konan/>



『<超・多国籍学校>は 今日もにぎやか!』

菊池 聡 著 岩波書店

★ (376.9-チ)

外国籍の住民が増え、さまざまな文化的背景をもつ子どもたちが通う学校から、多文化共生を考える。

『わたしは13歳、シリア難民。』

認定 NPO 法人国境なき子どもたち (KnK) 編著
合同出版 ■ (369.3-ワ)

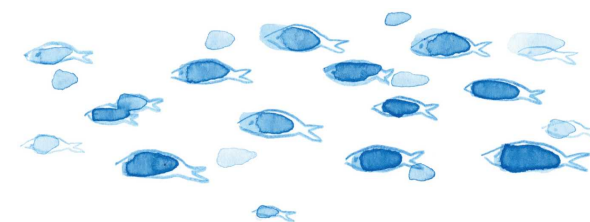
KnK の活動を通して子どもたちとかわり、見えてきたのは難民が抱える多くの問題だった。難民キャンプの生活だけではない、市街地へ移り住んだことによって起こる問題や差別。そんな中でシリアの子どもたちが見る将来の夢とは。

『ジャーニー 国境を越えて』

フランチェスカ・サンナ 作

きじとら出版 ★ (えほん-ジャ)

戦争が始まり、めっちゃくちゃになってしまった故郷。安心して暮らせる場所まで、いくつもの国境を越える、親子の長く危険な旅が始まる。



展示

『戦時下の滋賀—滋賀県平和祈念館所蔵パネル展—』

【日時】8月 3日(土)～ 25日(日)

【場所】甲西図書館 2階展示コーナー

『中学生による本の帯コンテスト2019』

【日時】8月 8日(木)～ 21日(水)

【場所】甲西図書館 開架室

【日時】8月 23日(金)～9月2日(月)

【場所】石部図書館 開架室

映画会

『～映画で見る戦争と平和～「紙屋悦子の青春」』

【日時】8月3日(土) 午後2時～3時50分

【場所】甲西図書館2階視聴覚室

ポイントラリー

図書館で本を借りたり、行事に参加するとポイントがもらえます。

【期間】

7月20日(土)～11月10日(日)

【対象】中学生以下

講演会

『いかいゆり子講演会

近江の小倉百人一首』

【日時】9月8日(日)

午後2時～3時30分

【場所】甲西図書館2階視聴覚室

【申し込み】電話か

図書館カウンターまで

石部図書館 0748(77)6252

湖南省石部中央1-2-3

休館日: 水曜・木曜・祝日

甲西図書館 0748(72)5550

湖南省中央5-50

休館日: 月曜・火曜・祝日・月末木曜日

HP



携帯電話



スマートフォン

『開幕！世界あたりまえ会議』

斗鬼 正一 著

ワニブックス ★（児382ーカ）

私の「ふつう」は、誰かの「ありえない」。「あたりまえ」は住む国や地域で違っている。この本を読むと、新しい視点が発見できるかも。

『えのないえほん』

斉藤 倫 作 植田 真 絵

講談社 ★（児913ーサイ）

醜いけものは目のみえない女の子と出会う。月の光さえも届かない世界。せつなさがにじみ出る本。

『ロボットが家にやってきたら・・・』

遠藤 薫 著 岩波書店（ジュニア新書）★（548ーロ）

私たちの生活において、今やロボットとAIは欠かせないものとなっている。ロボットとAIの歴史や文化を、日本と西欧を比較し、たどっていく。ロボットと私たち人間の関係は。

ジュニア新書にはこんな本もあります。

『生物学の基礎はことわざにあり』

杉本 正信 著 ■（460ーセ）

『めんそーれ！科学』

盛口 満 著 ★（430ーメ）

『数学と恋に落ちて 未知数に親しむ編』

ダニカ・マッケラー 著

★（410ース）

■マークは石部図書館に、★マークは甲西図書館にあります。
本が見あたらない時は、おたずねください。

『虫ざらいはなおるかな？』

金井 真紀 文と絵

理論社 ★（486ーム）

虫嫌い歴40年以上の著者。虫好きの人と虫嫌いの人との間にある隔たりを探るべく、昆虫の達人に教えを乞う。果たして著者の虫嫌いは克服できるのか。

夏に読もう、この1冊

『ウンダーカンマー ここは魅惑の博物館』

檜崎 茜 著 理論社

★（児913ーカシ）

職業体験のために博物館にやってきた5人の中学生。それぞれ別の仕事を任せられ、博物館のおもしろさに気づく。

『きりみ』

長嶋 祐成 え・ぶん 河出書房新社

★（知識の絵本）

お腹の空いている時に見てはいけません!!

「ウニの軍艦巻き」「サバの味噌煮」…。

魚の解体図から、食卓に並ぶ魚の生態をみる。

『地図を広げて』

岩瀬 成子 著

偕成社 ★（児913ーイワ）

お父さんと二人暮らしの鈴。だが、4か月前に母が亡くなり、4年ぶりに弟の圭も一緒に暮らすことになった。手探りで作る新しい家族や学校の日々。

『リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ』

こまつ あやこ 作 講談社

■★（児913ーコマ）

マレーシアからの帰国子女の沙弥。図書館の本を延滞し、督促女王に呼び出され、一緒に向かった先は…。そこで初めて「短歌」に出会う。

『しびれる短歌』

東直子 穂村弘／著 筑摩書房

★（911.1ーシ）

短歌について、歌人二人が語り合う。恋・食べ物・家族など、31文字から感じて、五感をしびれさせよう。

『ポケットに色をつめこんで』

エイミー・グリエルモ／

ジャクリーン・トゥールヴィル 文

ブリジット・バラガー 絵

フレーベル館 ★（えほんーポケ）

ディズニーのアトラクション、イツ・ア・スモールワールドをつくったメアリー。彼女は小さいころからキレイな色が大好きだった。ディズニーの世界に色を吹き込んだ女性の物語。

『映画ってどうやってつくるの？』

フロランス・デュカトー 文

シャンタル・ペタン 絵

西村書店 ★（児778.4）

「監督」や「俳優」は知っているけど、「スクリプター」ってどんな仕事？映画をひとつ作るには、たくさんの人が関わっている。クイズを交えながら豊富なイラストで映画の世界を紹介。